

2019/12/10

Daniel Nietlispach 博士の講演のご案内

首都大学東京大学院理学研究科 伊藤 隆

この度、英国 Cambridge 大学の Daniel Nietlispach 博士が来日されるので、博士の最新の研究成果について講演をお願いすることにいたしました。Nietlispach 博士は溶液 NMR の手法を用いた GPCR の研究で顕著な業績を上げている傍ら、non-uniform sampling や compressive sensing などの NMR の方法論的研究でも高い評価を得ている研究者です。2006 年の RRR workshop(京都)や、2010 年の第 49 回 NMR 討論会(東京)における招待講演でご記憶の方もいらっしゃるかと思います。

今回のご講演では、GPCR に関するご自身の最近の研究成果の中から、 ^{13}C 核および ^{19}F 核を用いた NMR 解析についてお話しいただけることになっております。

年末のお忙しい時期ではあると思いますが、グループ内の各位にも本講演会をお知らせ頂き、ご出席頂ければと考えております。

記

演者： Dr Daniel Nietlispach (Department of Biochemistry, University of Cambridge)

タイトル：“Conformational plasticity of ligand-bound and ternary GPCR complexes studied by NMR spectroscopy”

期日： 2019 年 12 月 18 日(水), 13:30~

場所： 首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス(秋葉原ダイビル 12F)

秋葉原サテライトキャンパスまでのアクセスは下記の URL をご覧ください。

http://www.tmu.ac.jp/university/campus_guide/access.html#mapakihabara

参加費： 無料

参加申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

それでは首都大学東京秋葉原サテライトキャンパスでお待ちしています。